

マテリアルライフ学会誌 執筆の手引き

1. 投稿の準備

必ず論文投稿規定または、依頼原稿執筆規定を読んでから御執筆下さい。

2. 原稿の書き方

2.1 ポイントシステム

本文の区分けはポイントシステムによる記号を用いて、大見出し、中見出し、小見出しなどを明確にして下さい。

〔例〕 1., 2., 3.,

1.1.1, 1.1.2,

(a), (b),

2.2 字体・綴りの統一

和文は原則として常用漢字による口語体を用いて下さい。英文の綴り方は英式・米式のいずれを用いてもよいが、いずれかに統一して下さい。

2.3 用語、記号および単位とその表記法

2.3.1 単位・記号

量記号は国際的に慣用されているものを用いて下さい。単位は国際単位系 (SI) を用いて下さい。SI以外の単位を使わざるをえない場合には、初めにSIで定義してから使用して下さい。

図表において物理量の数値を表わす場合には、日本化学会の方式にしたがって物理量記号/単位記号の形にして下さい。

2.3.2 学術・専門用語

学術用語は、原則として文部省編「学術用語集・各編」または、JIS用語を使用して下さい。

2.3.3 欧米の人名、会社名等

アルファベット綴りで書いて下さい。但し、周知の術語は日本語でカナ書きとします。

〔例〕 Abcdの理論, マクスウエルの法則。

2.3.4 句読点

文章の途中の区切りは「,」、終了時は「。」を用いて下さい。

2.4 引用文献・脚注

2.4.1 引用文献^{1) 2) 3)...} 脚注^{*1 *2 *3...}

上記のように通し番号で示し、引用文献は文末に、脚注はそれぞれの箇所の欄外に記載する。すでに引用した文献、注を繰返して引用する場合は、引用箇所に前出の番号を記すだけにして下さい。

2.4.2 引用文献文字

著者名が漢字の場合は姓名、欧字の場合は姓を先にして、

名のイニシャルを後ろに付けて下さい。

2.4.3 文献の略し方

原則として「科学技術文献速報」によって下さい。ただし、省略文字列の後ろには、ピリオドを付けてください。和文誌名は原則として省略しないで下さい。

2.4.4 雑誌の場合

文献番号、著者名他：論文名（必要な場合）、雑誌名、巻[号]、始めのページ（出版年）。但し、欧文誌名はイタリック体、巻は太文字またはアンダーライン付き、出版時期が複雑な場合は詳しく書いて下さい。論文名はどうしても必要な場合以外は省略して下さい。

〔例1〕 東京太郎, 大阪次郎：寿命, **8** [2], 110-115 (1988)

〔例2〕 Ellinger, M. L. : *J. Coat. Technol.*, **49** [627], 44 (1977)

2.4.5 単行本の場合

文献番号、著者または編者名：“書名”，出版社（出版年），引用ページ（始めのページ）

〔例1〕 東京太郎, 大阪次郎：“材料寿命概論”，マテリアルライフ学会 (1988), p.123

〔例2〕 Masters, L. W. : “Problems in Service Life Prediction of Building and Construction Materials”, NATO ASI series E-NO.95 (1985), p.283

2.4.6 著者自身の研究の（投稿済み）未印刷物

これらを引用する場合には、引用文献中に「投稿中」と記し、著者名、投稿誌、題名を付記して下さい。

2.4.7 特許の場合

〔例〕 東京太郎：特開昭 61-12345 (1986)

Materials, L. W. : US Pat., 3,102,701 (1982)

2.4.8 講演要旨集などからの引用

著者名：要旨集のタイトル、ページ、開催地、開催年、必要に応じて開催団体を記入。

2.4.9 JISやISOの記入

IUPACのルールに従う。

〔例〕 ISO 4892 : 1994

JISK 7200 : 1986

3. 図・写真および表

図および表は本文を参照しなくても要点がわかるように配慮して作成して下さい。図表はA4用紙1枚に1つつつとして下さい。

3.1 図表の記載

依頼原稿では、図表の記載は日本語・英語どちらでも結構です。

図表は直接版下として使用しますので、トレーシングペーパー、または白紙（A4判）に黒インキ（製図用）にて鮮明に書いたものを原則としますが、ワードプロセッサにより鮮明に書いたものでもかまいません。なお、これら以外の原稿の場合、鮮明なものに限りコピーでも可とします。

3.2 写真

図として番号を付けて下さい（Photo.1, Photo.2等はいない）。正原稿用の写真は原則としてモノクロの銀塩印画とし、コントラストの適正なものを用いて下さい。副原稿用の写真は正原稿の普通紙コピーで結構です。カラー写真が必要な場合は製版代筆者負担による記載が可能です。写真は原稿用紙の折り目を避けて貼り付けて下さい。

3.3 図

A4の白紙または方眼紙にカーボンインクで記入またはプリントして下さい。原図を普通紙コピーしたもので結構ですが、方眼が完全に消えていることを確認して下さい。製版したときかなり縮小されますから、線の太さや文字の大きさを十分に大きくして、線がかすれたり字が読めなくなるようなことが起こらないように特に御注意をお願いします。学会誌に掲載されている図の大きさに縮小して、見やすいか否かを確認して下さい。

3.4 図表 No.

英語表記では [Fig. 1, Table 3] 等と記載し、複数の場合には [Fig. 2, Fig. 4 及び Fig. 7], 或は [Table 3-Table 6] 等として下さい（～記号は邦文中のみ使用可）。

4. 英文, 英字, 英語の略記

4.1 英文要旨

和文要旨に対応するものとして書いて下さい。著者名（名, 姓の順）、所属機関の公式英語名と所在地宛先を書いて下さい。

[宛先例] Materials Life Society, Japan (6-8, Kayabacho 2-chome, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, 103-0025 Japan)

4.2 字体

数式の数量を表す文字 (a, b, c, x, y 等)、物理量、化学量の記号等（引用文献の欧文雑誌名も同、2.4.4 参照）はイタリック体（斜体）、数式の演算記号はローマン体です。

4.3 英語の略記

化合物名、測定法等を略記するときはその最初の使用の際、省略しない名称を先に書き、その後の（ ）内に略語を記入して下さい。以後は略語のみを使用します。

~~~~~  
The Journal publishes original papers and reviews in all fields having to do with degradation, durability and service life estimation of materials. Articles for Journal of Materials Life Society are published in Japanese and English. Authors who wish to submit English papers to Materials Life Society please contact to the administrative office.

Materials Life Society, Japan,

Ohyu Building, 6-8 Kayabacho 2-chome, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, 103-0025 Japan,

E-mail : mls@kt.rim.or.jp  
~~~~~

(1998年7月 7日改訂)

(2001年1月12日改訂)

(2002年7月 2日改訂)